東海テレビ放送
社長記者会見

【発表資料】

◆日時　　平成29年１月25日（水） 午後２時～

◆場所　　東海テレビ　７A会議室

オトナの土ドラ

原作：遠藤周作

真昼の悪魔

枠タイトル：オトナの土ドラ
番組名：　「真昼の悪魔」
放送日時：２月４日（土）～全８回＜予定＞
毎週土曜日　23:40～24:35
企画：横田　誠（東海テレビ）
原作：遠藤周作　『真昼の悪魔』（新潮文庫　刊）
脚本：香坂隆史
音楽：兼松衆、大間々昴
プロデュース：遠山圭介（東海テレビ）
　　高橋史典（ケイファクトリー）
　　馬場三輝（ケイファクトリー）
協力プロデュース：市野直親（東海テレビ）
　　千葉行利（ケイファクトリー）
演出：森雅弘ほか
制作著作：ケイファクトリー
制　　作：東海テレビ

写真）主人公・大河内葉子役の田中麗奈

【出演者】
田中麗奈　中村蒼　大倉孝二　伊武雅刀　ほか
【内容】
　土曜日の夜を恐怖で包んだドラマ『火の粉』。
“狂気の隣人”に続き、『火の粉』制作チームが放つ第二弾は――“悪魔の女医”。
　美人で仕事も完璧、患者からの信頼も厚く、一見パーフェクトな１人の女医。しかし、彼女が唯一持っていなかったものが…人間らしい心。心の中は、目立たぬ埃のように塵積もった“悪魔”に憑つかれていた。
「魔がさす」ことは誰にでもあるものの、それを実際に行動に移す人はほとんどいません。しかし、心に悪魔が棲みついている女医にはそのブレーキはなく、悪をなんら躊躇することなく遂行していきます。彼女は、病院という生と死が表裏一体の特殊な空間で、医師の立場を利用しながら、同僚や恋人、入院患者たちに、次々といやらしく非道な悪を実践していきます。その悪を暴こうと思い立つ患者の青年。彼に待ち受ける最悪の結末とは…？
　理由もなくただ悪を繰り返す悪魔の女医自身にも、実は彼女にしか分からない葛藤が。何事にも感動できず、何事にも興味がわかない。悪事を繰り返しても、募るのは虚しさだけ。自分が悪魔だと自覚しながらも、そこから抜け出せない彼女が抱える苦悩とは？
　病院を舞台としたサスペンスであると同時に、主人公の恐ろしさだけでなく、登場人物それぞれが抱える「心の中の闇」にもスポットを当てます。誰もが経験する日常的なストレスや隠し事、後悔、そして欲望 。悪魔と対峙した時、人は自身の闇の部分とどう向き合うのか…
　原作は、遠藤周作氏が昭和55年に発表した『真昼の悪魔』。発表当時と比べ、より一層、善と悪の区別が混沌とする現代。誰もが心に“悪魔”をため込む危険性を秘めています。発表から30年以上が経った今でも、この本が持つメッセージ性は色あせることなく、時代を超えて考えさせられる名作です。
　満たされない心を試すかのように悪事をエスカレートさせる女医と、それに翻弄される患者の青年。病院で繰り広げられる緊迫の心理サスペンス。土曜の夜、悪魔の女医が日本を恐怖で包みます！

＜ドキュメンタリー＞

写真）津端修一、英子夫妻

■番組名：人生フルーツ
ある建築家と雑木林のものがたり
【放送日時】
2016年３月20日（日）16:05～17:25
（東海テレビローカル）
【制作著作】東海テレビ
【出演者】津端修一、津端英子
ナレーション：樹木希林
【番組内容】
90歳の建築家、津端修一さん（元広島大学教授、元日本住宅公団）と、87歳の妻、英子さんは、愛知県春日井市の高蔵寺ニュータウンに暮らしている。修一さんは、戦後最大の都市計画ともいわれ　た「高蔵寺ニュータウン」の基本設計をした人物で、日本住宅公団の創設期の中心メンバーとして、激動の戦後日本の“住宅”、“団地”、“ニュータウン”を作り続けてきた。
津端夫妻は自ら設計をした高蔵寺に、完成当時から住み続け、約50年が経過。その自宅では、50年前に植えた小さな苗木が、今では鬱蒼とした雑木林に成長し、枯葉をまいて土を耕し続けた畑では、年間を通じて約１00種類もの野菜や果実が育っている。妻の英子さんは、畑で収穫した作物を使って、夫のために自慢の手料理を丁寧に作る日々を送る。
ふたりが暮らす家は、30畳一間、平屋建ての杉の丸太小屋。食事も仕事も睡眠も、ワンルームで過ごす機能的で快適な生活である。ふたりの暮らしぶりは、まるで現代の桃源郷のよう。この番組は、建築家、津端修一さんと妻の英子さん、ふたりの暮らしを追った“人生のものがたり”である。
＜（注）番組に出演されている方の年齢は、全て放送当日のものです＞

【受賞歴】
平成28年度（第71回）　文化庁芸術祭　テレビ・ドキュメンタリー部門　大賞
第12回　日本放送文化大賞　テレビ部門　グランプリ
第42回　放送文化基金賞　テレビエンターテインメント番組部門　最優秀賞
第53回　ギャラクシー賞　テレビ部門　選奨
平成28年　日本民間放送連盟賞　テレビ教養番組部門　優秀賞
2016年　地方の時代映像祭　放送局部門　選奨

＜劇場版上映スケジュール＞
１月２日（月）～　東京・ポレポレ東中野
１月９日（月）～　名古屋シネマテーク
１月14日（土）～　大阪・第七藝術劇場
２月４日（土）～　ミッドランドシネマ名古屋空港

＜ドキュメンタリー＞

写真左から）津端英子さん、樹木希林

■番組名：樹木希林の居酒屋ばぁば
【放送日時】
2017年１月28日（土）05:40～06:40
（東海テレビローカル）
【制作著作】東海テレビ
【出演者】樹木希林、津端英子
ナレーション： 本仮屋ユイカ
【番組内容】
女優・樹木希林(74）と主婦・津端英子さん（89）が居酒屋で女子会をする。きっかけは、ドキュメンタリー「人生フルーツ」。番組の主人公の津端修一さんの妻として番組に登場した英子さんは、修一さんが亡くなってから、なぜか「居酒屋へ行ってみたい」と言い出して…。そんな話を聞いた希林さんが、名古屋の行きつけの居酒屋に英子さんをご招待。74歳と89歳がほろ酔い気分で語り合う。
その一か月後、趣味は「物件めぐり」だという希林さんが、愛知県春日井市の英子さんのお宅を訪問。今度は英子さん手作りのお菓子をいただきながら、再びばぁばの女子トークは大盛り上がり！夫のこと、孫のこと、食べ物や病気の話などなど…。人生の大先輩、２人のばぁばが本音で語り尽くす。

写真）犬のしつけをする高橋忍さん

■番組名：悪い犬（仮題）
【放送日時】
2017年２～３月放送予定（東海テレビローカル）
【制作著作】東海テレビ
【出演者】高橋忍　ナレーション：未定
【番組内容】
2015年、名古屋市の住宅からドーベルマンが逃げ出し、通行人などに噛みつきケガをさせた。犬は４歳のオスで、事件後に動物愛護センターの職員に捕獲され、殺処分のガス室送りされるはずだった。しかし、殺処分の寸前に救済の手を挙げた人がいた。犬のしつけ教室をしている訓練士・高橋忍さん。今は更生の努力を続ける“悪い犬”と訓練士の日々、そこから見える社会の姿を描く。

写真）林正道さん

■番組名：「海洋楽者のラストメッセージ」（仮題）
【放送日時】
2017年４～５月放送予定（東海テレビローカル）
【制作著作】東海テレビ
【出演者】林正道　　ナレーション：未定
【番組内容】
海の生物そっくりのロボットを製作し、海の楽しさを伝える林正道さん（55歳）。
15年ほど前から病院や障害者施設などを地道にまわる活動を続けてきた。そもそも彼の活動のきっかけは、自身が肺がんを患ったことから。年々体力は落ちてきた。そんな中、子どもたちの笑顔を原動力に気力を振り絞り活動を続けてきた。しかし、今年ついに歩くのもままならなくなり、唯一の生き甲斐であった海の教室の訪問活動をやめることを決意。番組では、これまでの林さんの想いと弟子たちへの継承など未来へ紡ぐメッセージを伝える。

＜4K番組情報＞

写真左から）速水里彩、佐井祐里奈

■番組名：「にっぽん４Ｋ巡り」
岐阜編～飛騨高山・白川郷　広がる日本の原風景～（仮題）
【放送日時】
★「ひかりＴＶチャンネル４Ｋ」にて３月放送
　同時にＶＯＤ配信（予定）
（※地上波でも放送予定）
【制作著作】東海テレビ
【出演者】速水里彩（東海テレビアナウンサー）
　　佐井祐里奈
【番組内容】
　古都の風情を今に残す美しい町並み「飛騨高山」と、山里の生活を今に伝える「白川郷」。日本人はもとより外国人観光客からも高い評価を得ているこの２つのエリアを、４Ｋならではのクリアで迫力ある映像とともに届ける。高山市では、宮川沿いに並んだ宮川朝市で採れたての地元野菜の瑞々しさや地元の方々との活き活きとしたふれ合いの様子を撮影し、また上三之町の古い町並みや伝統工芸の一位一刀彫など、昔から木と共に生きてきた町ならではの「木の温もり」や「繊細な質感」を今までにない映像でお伝え。他にも雪景色の中にライトアップで浮かび上がった世界遺産・白川郷合掌造りの幻想的な風景や、地元の美味しいグルメなども４Ｋならではのクリアな映像で撮影し、その魅力をたっぷりとお届けする。

＜VR（バーチャルリアリティ）事業＞

■ＶＲ事業・スマートフォンアプリの取り組み
【名称】ＶＲ　ＴＯＫＡＩ（ブイアール　トウカイ）
【仕様】スマートフォンアプリ（iPhone・Android）
【配信時期】2017年４月上旬
【利用料金】無料
【概要】
　ＶＲコンテンツは加速度的に増えつつあり、企業や行政もＶＲ事業に取り組み始めている。そんな成長著しいＶＲ市場に参入し、東海テレビ独自の新たな映像コンテンツを配信する。

【コンテンツ内容（予定）】
▼情報番組「スイッチ！」スタジオ見学
　遊び心満載のスタジオをＶＲ映像で紹介。ＭＣの長島アナ、恒川アナの軽快トークとともに、その場に一緒にいるような疑似体験ができる。
＊「スイッチ！」…毎週月曜～金曜　9:50～11:15
▼「ぐっさん家」のお宅探訪
　番組のシンボルである６畳一間のアパートに疑似訪問する。どんな部屋なのか隅々までＶＲ映像で紹介し、まるでぐっさん家にいるような感覚を味わえる。
＊「ぐっさん家」…毎週土曜　18:30～19:00
▼テーマパークで絶叫マシン体験
　３６０°ＶＲ映像を効果的に楽しめるコンテンツの一つに絶叫マシン体験がある。スリルと迫力ある映像で、実際に乗り物に乗っているような体験ができる。

＜イベント＞

「平成中村座」
～400年前の歌舞伎の世界にタイムトリップ！
一歩足を入れるとそこは「江戸時代」！～

＜はじめに＞
「平成中村座」は、十八世中村勘三郎さんの江戸時代の芝居小屋を再現したいという思いから生まれた。小屋の正面には中村屋の定紋「角切銀杏(すみきりいちょう)」、天井には「平成中村座」と書かれた大提灯があり、江戸時代の中村座そのものが再現されている。仮設劇場でありながら、劇場内には木の香りが漂い、畳敷きの座席等が観客の心をリアルな歌舞伎の世界へといざなう。舞台と客席が近く、まさに役者と観客が一体化できる空間となっている。

【開催概要】
タ イ ト ル：名古屋城本丸御殿公開プレイベント「名古屋平成中村座」
開 催 日 程：2017年６月
会　　場：名古屋城内　二之丸広場
出　　演：中村勘九郎、中村七之助ほか
主　　催：東海テレビ放送、御園座、中日新聞社、東海ラジオ放送
共　　催：名古屋市

内観イメージ

外観イメージ

○平成中村座特設テントの大きさ
たて　45m×よこ　22.5m×高さ　16m（一番高いところ）
劇場占有面積　　約1,000㎡　総客席数　８３６席（予定）

＜中村勘九郎、中村七之助コメント＞
「父（十八代目中村勘三郎）の『江戸時代の芝居小屋を現代に復活させ、多くの方々に歌舞伎を楽しんでもらいたい』という思いが実現した平成中村座。父が亡くなり、もうできなくなるのではという思いもありましたが皆様のお陰で2015年に浅草・大阪、そして、今年６月に８年ぶりに名古屋で開催させていただく運びとなりました。江戸時代の雰囲気そのままの芝居小屋を名古屋城二之丸広場に建て、最高の環境の中で渾身の舞台を勤めます。
ぜひご期待下さい。」

写真左から）中村勘九郎、中村七之助